

最近の景況・業況の動向についてのアンケート調査 集計結果

調査概要

- ・調査時期／令和5年12月11日（月）～1月25日（水）
- ・調査対象／当所会員1,717名（2月1日現在）
- ・調査方法／会報掲載、FAX・フォームでの回答
- ・回答数／113件
- ・回答業種／製造業34%、建設業21%、小売業19%、卸売業2%、サービス業19%、その他5%

結果の詳細は
右のQRコード
からも確認
できます。

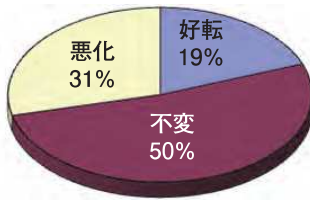


1. 景況・業況の動向

(1) 景況感

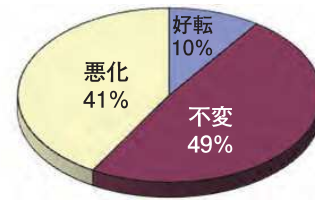
・前期と比べた今期の状況（10～12月）

	合計	製造	建設	小売	卸売	サービス	その他
1 好転	21	8	0	5	0	7	1
2 不変	57	17	19	10	1	7	3
3 悪化	35	13	5	7	1	7	2



・今期と比べた来期の見通し（1～3月）

	合計	製造	建設	小売	卸売	サービス	その他
1 好転	11	4	1	3	0	2	1
2 不変	55	17	14	8	2	11	3
3 悪化	47	17	9	11	0	8	2



(2) 景況感の判断理由

- (製造業) 新幹線関連の公共事業が頭打ちになってきた。
- (製造業) 地震の影響や取引先の閉店など。
- (製造業) 国内の引合いは低調さみ、海外からの引合い増加で設備投資への傾向高まる。
- (建設業) 物価上昇に歯止めがかからず仕入れなどに影響が、段々重くなってきたが売り上げにまだ反映しきれていない。
- (建設業) 新幹線関連が終わり、公共事業の先が見えない。民間は資材の高騰で動きが鈍い。

- (小売業) 新幹線開業に向けた、旅行控えが予想される。
- (小売業) コロナ、インフルエンザが落ち着いたため好調。
- (サービス業) 仕入原価、水道光熱費、人件費の高騰した分をすぐに価格転嫁できないため。
- (サービス業) 能登半島地震による観光客の激減、2ヶ月後の新幹線開業時には人が動いてほしい。
- (サービス業) 12月は例年良いが、今年は良くない。(物価高が影響)

2. インボイスについて

(1) インボイスの登録状況について

	合計	製造	建設	小売	卸売	サービス	その他
1 制度開始前から課税事業者であり、9月以前より登録済みであった	88	32	21	14	1	16	4
2 制度開始前から課税事業者であり、10月以降に登録した	5	3	2	0	0	0	0
3 制度開始前から課税事業者であり、現在未登録である	1	0	0	0	0	1	0
4 制度開始前は免税事業者であり、9月以前より登録済みであった	2	0	0	1	0	0	1
5 制度開始前は免税事業者であり、10月以降に登録した	1	0	0	0	0	1	0
6 制度開始前は免税事業者であり、現在未登録である	13	2	0	6	1	3	1

(2) 上記(1)で①②④⑤と回答された方にお聞きします。現状の問題点を以下の中からお選び下さい。

※複数回答可		合計	製造	建設	小売	卸売	サービス	その他
1 特に問題はない	31%	37	14	9	4	0	6	4
2 経理処理が煩雑になった	37%	44	19	6	9	1	9	0
3 納税額が増えた・今後増える	7%	8	4	1	1	0	0	2
4 登録番号がまだ発行されていない	0%	0	0	0	0	0	0	0
5 取引業者が登録していない	11%	13	4	4	2	0	3	0
6 制度導入による事務経費増加（番号印刷等）	12%	14	4	7	2	0	1	0
7 その他	3%	4	1	0	1	0	2	0

現状の問題点として「経理処理が煩雑になった」との回答が最も多く、続いて「特に問題はない」との回答が多い結果となりました。

今回の調査結果は以上となりました。ご協力ありがとうございました。